餘十六回一食腐共治鄉方鄉 (接六食恒定部一) 一三目丁一戶平大區中形據清 並接日以京 並會實合 所有圖 平 太 宫 商 人 行安全轉列 第 3 号 仲 人 朝 名

に應

【語時間殿殿田野道班鎮十七日第1

十六十日)を東連する旧水河岸

ふに至り放果機大内である

第一級兵力を一と兄う後退せしむ

達し、酸酸型に大助揺を強くてお

なに搬ね低いである。だが

真細心の野難神に開始上沙野。

B 29 0

撃墜を確認

司債は値ちに活動を開始した。

口附近を素域したが、脳大峡に阻 門人時甘分W中島最広湖北省老

大東亞戰域一初陣に慘敗

がなる政国政法をもってすれに※ | 湖南省内海流行場に着陸したとこ

んとし長沙暦万元キロの諸館出に

山地などの第一線火力な網細して

六。第九朝歸は抗敗即官

長沙の線をもつて決戦を挑ぶんと

味するだけに敵の防衛刀も解り

したが、わが安陽正面の混るは元 たのち、側壁、尾部を企図し経際 選を製剤と利症研磨方地盛における観の必然で配って民には長み、常報剤の製物金融を攻送して数の

三大ので

対落進撃で

過信今や微塵

際抗陸力の密接触ともいふべく、

十一機擊墜破

地上部隊の奮戦

げた。一概、計十一般の原気を集

見、これに経攻を治びせ、さらに

胎関約世長を認め取らて攻略を用 益陽西南世界で長貨を満版した政

> の陰に快速を認る司令部以終機の 流て死たB29一概を見事

四、全球 単一下ン本 ・全球 単一下ン、 ・全球 単一下ン、 ・全球 単一下ン、 ・サイクロン、十 ライド・サイクロン、十 ライド・サイクロン、十

において敵は激次にわたって大損

近代戰爭史略為五百八日

◆ニューギニャ方面=トル河口

動がある。すなはち十六日内地

は之に猛災を加へ収配焼烈を保め 書を被つたとも別らず六月五日頃 日間支那一般の防衛殿として第一

敵の戦意概ね低調

敵心臓部に肉質 米空車基地心連續 AL

地をつぎく、砂取、女字消り動作の説はを窓げ、数、海畔より無徳しつく彫所に像の集団を閣談し前衛師 六、第九帰賊區の傑匠的野域を押しわが海峡は河底 到路間国の心臓能に肉帯してある。 「湖南削級十七日同盟」軍隊抗阪力の主流をなず第一億、かくして敬第九戦區の本権長沙に消りつ入るる 一方弥六陽村と過数しと語歌は元う海ば郷北殿 ・ 愛 への影響でわが地上語像は彼の気の鍵とは寒と出版には隠して六月一日波には床山間と前・ 郎子を注意運動の衝域ならや涼南の山帯を跳りに とりが臨床 ・ こ日とは彼が九十 「師の本瀬田永江を登録」 ・ 愛 への影響でわが地上語像は彼の気の鍵とは変系と思います。

を数へる状態でわび地上部隊は破の銃線域に放然と 果をあげてある、これに対し敵も死力を振し、敵機 問部各地區に連日間版なきる文医を修行、蘇々の成 極地上軍や分低岸に長坂な晩様四を加へ多大の点派 またわが航空部隊は地上部隊の進度を譲渡しつと

の耐火酸し古を加へ氏に水酸酸機姓百樓

はゆる「最出間線」の第一線兵廠

受け指揮系統は少からで国路に応 學大版區法昨年湖北、郡南、常德

> 得るとし、第九戦国が筋の力能を 地帯を衝換してわが遺伝を配上し 湯げ、長沙県田の線をもつて主陣 くと入もに長沙の完全武装を成し 明 名き 医后足地毒

たB19被後が診加してあた単位な

の大鬼態戦域における初戦は熟れ のために捕捉と激されてなり同機

描たはつてある、B9に問題ひな

る観判特領自同は

文作成と解然の情緒に即随し作戦

ある

北太平洋方面

来を收めつくある河南地

が はこれに戦日夜戦を投戦し盗賊を続けて 間が はこれに戦日夜戦を皮後し盗夷馬

で日華將領會同

てはその後駆は淡软大指語を被

火砲鞍増入、まえピアクほにおい てある。六月十一日までに判明し

た確認さる選挙化衡一千五百以上

福州 出言

耐は戦機競児の第一報を設した、 い、思は四大牧母に実施した同中 すると領述路に四級超出線が一機 時三十分欲襲を綴って内郷に進入 場を探求すべく沢冠した、午配九 戦の利くい中国は過識で内部飛行

の下に十三日十一時から開封〇〇 に輝く両村北支軍最高指揮官主席

にも疑いな結果に困つた

題に借り破が新鉄不落を辿ってあ

全に敵を日曜する原明となり、

政第廿軍の主力第百廿三師、第廿四師、新職第廿師 河を飛行波河して南岸の奥町新潟を築取、造乳する だわが精験諸型突は一気に敵の前筋原地を駒散ら を急退して一路時に進程をつざけ三日演響には防傷 行動を配したのは五月廿七日、戦削的に被を呑ん、

一九帥の主力を殲滅し、六日早朝には要衝湘戦を占一

第二級の日水の北岸に消り敵が最短を自負する第廿 部隊に咨問攻略を加へて強走せしめた 九十九師、泗川里の第百六十二師或に第廿里の敗走 七国の中央直案九十五、六十例師および接条卅、第

一市、長祭間、平江、長齢間などを占疑思うく明めな



を突破レ汨水の流れに沿うて取り重要援點電視、新



長沙を二重包圍

電路下の開催者量廃九十五間。「以下井が師をもつて開煙間に短崎の大作成の超過を見るに図作也」作師せしる、既時司令長官振運中令大作成の超過を見るに図作せ、一作師せしる。既時司令長官振運中

てある

過程は会後地で開きた

長沙攻略開始の戦戦ととも行この一これを認めてをり辿では人は地が 目ら場信してゐたが、わが海峡の一によって瞬墜されたことは歌鳴も

のち至うじて支那大陸に満げたび にBay来域機のうち一機に質疑の 明らがにされたわけである。さら り、恐るるに足りずということが ちこれを帰り去ることが可能であ

内郷で(潮)

原盟地域に登場したのは今回が最

続は安職被殺となって敗走。私演

陸七機のうちと自分が必ることが 遊飯の政地域融を行った諸果、昭

標語を解機は医の名現場に派討し 物であり順用な問題をとり記り技

確認された

省内部飛行場に暫壓してゐるので

の製器

は極米が監督人しかつた

めて安を現はした139所間『歴空

十六日の北九州ゲリラ公園にはじ

一般の出場

高部隊長から今天河南追

蔣、河南省長部文號中 日令、孫民城縣司令、張

間方面の限上呼叫を攻破し然つた おける敵の行動も逐次活泼になっ

赤軍五千屠る

て十四日深田和常なる厳略が北下 る版の攻勢に呼吸してこの方面に ニヤ方面、中部大学洋方面におけ

「超空の要塞」B29

意思直接強を叩きつけ炎上ゼレめ

刀の手を駆けて気に攻撃を行

既を以て監視射撃を加へるに至った。場所し来り、十三月には一部

发視と敬命した・・ 際対なき対見の交換を 覚について説明、午後

六日次の戦紀公報を設設した キ死世 = フィランド 裏司会部は十

カレリヤ地級においてフィン

六月十日字でにおける敵盗災死 一河し來った袰南里を樹りに整備

中部太平洋方面

來聞は砲場側の揺逃下にサイバン 機以上を職墜、三機を開設、国監 た、わが方これを巡路して百古十

した、越えて十五日朝

されシーランメーキでは最も個 クーにおいて戦事隊をも混って

期間を機能した

部隊は一度まで水陽こおいて敵を に上陸を企図し米つた、わが所在

、三度び域は上層を企

度廿五台を棚坐させた

ド軍は少くとも敵の五千を小し 烈な戦闘が接頭されフィンラン

改をもつて十五日午前ビーフー、ソビエート空軍は戦場運会圏

リを攻略、損害と死傷を出した

うちのB28一機が数前進品地副附

も辿りついた関展であるが、そのに関し、単微毎に 支那大陸に至く を冒頭した戦機は極限をはらばら

とが順も敗れ後の第一級等論部

宜昌正面の敵に徹底的痛打

東の振動領別、西の野祗霊跡を包文略を目指し正面はらびにた石 断攻とし、かくて長沙に対する大

し副時の攻略又目聴に辿ってかり るが、登場は底に大月十一日昭落(許明(学に東方廿十日)を被を駆り続い、気田壁を帰嗣したのであった勝り他一日には戦壮郎の根拠長 の奨励を相次いで攻略した 所在の段市(道成集階方廿千日) の炎天をものともせず去月廿八日

第九駅 監督家の 戦略 原際はここに 麥埠山を突破

解をついけるわが部隊は数員国際 の異點を突破レ七十二軍、廿里を一

許街 (华江東万廿千日) · 李被老衛 わが民国記録に根拠せる酸は新

には第廿九世新織第十三師司令郎

「闘闘闘線大多田報道班爵士七日」殿によってわか議院を廃止めたと 統芸で際見山の

間所に階級してある 敵艦艇北千島攻撃 と呼続するようで破が 一起空の要

展上旅館南方別がです。 四方間一方面総統部 今前間方面「単海湖西方へ総 西方間一方面総統部 今前間方面「単海湖西方へ総 の中が国際に長が東方五十、 の中が国際に長が東方五十、 で先制政権を派へ第二

上ラック へ敵機喰下る

脱高軍の二ケ児関係を一 **売監験援記をみび終入** 郷に捕捉魔滅し、古りに劉岡河した第五十八垣の計六ケ垣を一

を被判廃距中である。
界派認西

ビルマ方面コレマ方面

方より追呼した部隊に震めて原間にをで第九十九軍を開間にをで第九十九軍を開間になる。
展が附近の敵に難してこれを四限より包閣なりの職に震してこれを四限が、他には、一方より追呼した部隊に震し、他には、他には、

次動権の色を見せ、わが軍は之 に切付けて敵の攻撃を開催しつくってある、わび部隊はこれを寸前

- 徹底別録ぎインベール平坦から「の紋壁による瀬郷上海とて窓壁を、サイバン、テニヤン、大宮になど上入って直、コミマ方面、ンプール開発およびその南方地區、現し向日午後より二三日午前まで ◇ビシエンブール方面=ビシェ ル周邊およびその南方地區

方限回に有力なる敵機動品際が出

に関し次の難り言明した。

ローマ軍政長官解職 状態に<mark>国れた</mark> 物が記述を が関不能

【リボン十八日同盟】ローマ來館 野塚、野野しその指野は感覚であした。 わが方はその十七個以上を 後小笠原諸島硫南島、父島を空襲 殿中である。この上陸 一般機動部隊は廿五日午

この個数機体七日から十四日にこの個数機体七日から十四日に一名が同じ来職して来た。すなて各方面に来職して来た。すな 百九十城,十三日七十一(丙)一凝酸壁、二凝酸 「舞踊戦器」新任の無調要器司令

の音楽の一般がある 御要然司令部より成装された に補職競令せられたる富十七日然司令官栃木功愿軍大佐は某型 寫丸山八東國軍大路は十七日子後 二時十七分四級網際發發行、前要 赤松、赤城兩代議士

總督ご懇談

(調何) 鏡剛·粉宗各一門致十篇

獨軍・決戰近しと言明 頭堡に楔入 に上れば、郷殿軍部隊は十六日頃 【ベルリン十七日同盟】前殿報脳 コーモンで獨軍進出 目下滅賊が展開中

20一イタリヤ派出反復動生司令部

【リスポン十七日問題】ナポリ死

は十六日正十四紀公前とおいて

【ベルリン士、自同盟】孫結大本

ターマン氏も対反響について次の一

との個スピットヘッド附近で多によればボーツマスとオイト場と望の報告

獨の無人飛行機に英側震撼

の牧熊自似はトラツ

四年は十五日夜初に終をもつて

イングランド東部ならびにロン

って肌行してゐるのを認めたが 数の戦器船舶が東州に針路をと

が、わが航空部隊は敵陣地および

とするニューギニヤ 洋方面 ピアクミ 能は依然放然である

地上記録の士氣を昂揚

多数を加入で戦

を目的したと言はれるサザンフ忽らにして炎上、海上に濃ふの

目下放政が開済れてゐる

ルテ・セレイド西方にも上陸、同島の北部ならびに東南岸のト が協関部に上陸したが、

さらに

反権刑はは十七日午前三段エル

はフランス級軍がエルバ降に上屋

大ロンドン地区を攻撃し四百場が 『痴様は十五日夜町に話をもつて

変投下した

と疑衷、

また同時に

少な諸十七日慈変した

の通り屋明した・

政権がないるもってよっ はれる 震攻、相信の地域に

撤出したい ク師を海底へ 沿底へ 沿線

によれば。国民語での他の誤解品一行中、関沿岸を含はこれを認识し とくもに反播動館の一ケ師をは成 【ベルリンナ六日同盟】随談報道【にノルマンデーの海岸目指して疏 で映の一ケ師以上を海中の漢語と

題に郷外務省の間報部長代理プント

黑煙酸人英南部

侵攻作戦に對抗する丘然でありる丘器は全く斬新、反陥駒位の

交化的配窓物に対して反脳を対して

「ストツクホルム十六日同盟」ロ

く新兵器の洗餌を受けた

◇ソロモン方面=ラバウルには七

況的を見合に副祭団兄子る

三日にかけ短六百六十

四級を照接した、カビーの政が来段、その五機

(可認物便數值主第日十月八年允希治明))

(中部太平洋北部十七日同盟) 十

延廿八機來製 トラツク島に 興庫から大爆發を超し火

16一瞬 敵戦艦は後部火

u sami 中

【ベルリン十七日同盟】郷無智局

西南においても反移期頃を緊張

ンドン地區伝達めて短時間の休

西方カランタン地路ならびと同 ・ 以來イングランギ関節およびロ ・ 次月十五日午後十一段四十分

終と中し数上したのである。わ

十一機擊破

, 3.2 H

常は十六日正年次の通り発表した に一大決戦の前後にむる 国明ー北側の怪変作戦をおいては

て拡大である はとくにカランタン地區においし陣地を帰化、反稱軸域の損害

ては劉ជの反際終功し、オルマー・十五日ノルマンデー・破線におい

スルシナー目の思いない

されてある

日攻防殿を送行、多大の成果を

ノルマンデーでは国軍は十六

に浴びせてをり命中地種は非常 止を除きドイツの機鼓物を

河東岸の樹甲部隊は反稱軸望の

【ベルリン十六日同盟】郷統大本

概念へ敵戦艦 一隻に命

を続けつくあるが、十五日朝テニ の関い来ばで特に歴に果敢な反射

が経過し然つたが、これも空間に 空間により五機を駆殴して駆逐 が米回し所在部隊はこれを設置、

【西南太平洋蓝地十七日问题】十

廿八機來襲 マノクワリに

日午後十時ごろ娅十歳かもつて断

を在支来を駆けこれに先立ら十五 強同盟一十六日未明北九州を殴つ 【大陸削級基地指報道班員十七日

落したものと見られる

在は優別は恋く地、川中に海下「する際は十五日館」、「国に贈り北」りユーシャン説明から天地」とのじたものと見られる。 七日後1 不敗にも北方後漢を金圏 一数の観視をあげた。この日十日アービンをのと見られる

「北一島前韓基加公田韓道巡員十一高切施察はこれを破過して二機路

にあげたが、わが情談にはまた経

然態ひかくれば数は周室級短短頭

十個を海上に投下して調定した。

「ベルソン十七日同盟」関西部局

「ベルソン士六日同盟」際原営院

日間で発験し、大佐ブイスケーが

一時類格を代行するといはいる

間の綜合戦果 獨空軍、十日

T

1, 1

心超重爆彈

敵、エルバ島に上陸

北千島に十一後來襲

福財砲隊はこれに猛烈災敗な昭四

上新四次·音号音。 上80 高量として選定したが、ついで十一

人機能験で灰脚、待ち帰へて心を

は十八日次の通り高明した

ていたとう一方年的関長クレツン・ウイットや時はノルマンデー取版。

郷公派は郊の侵攻作戦開始以來

ルを揺扱し、かねて用なされた

艦船六十一

||反艦軸軍ローマ軍政長官に就迁

「ベルリンナ六日同盟」郷銀管局

キネビル撤收

親衞隊師團長戰死

を浴せ巡ちにして其二機を面裂り

無語の民衆顕名を殺傷したのみ「予陽上宗に來聞したが、わが危欲

一般三機はわず熾烈なる地上配火と一わが万に何等損害なし

1 選した、残らく被難収機のうち搬

京之十四日午前にも124廿七般

数軍を指線中の歌騒と跳烈な歴

【中部大学学芸印十七日同盟】マ

三日午後トラツク網にBM廿二機一があつた

テニアンの砲台奮戰

隻炎上

た、我が方の被害なし

敵機廣東地區に來獎

世歌教授に強大な投資を軽くてい

古河照明弾を知り集中砲火を浴び

その四機を膨胀してこれを暗退し 世界膜したが、所在の容が部隊は

外附近に散戦的に投弾したがわか

で、わが方の拍野は全くなかつ

一機を血祭り

防空間火はこれを反響、敵の投下

則に同日小笠原語院に対する不速。早くより別がしてゐたところであ

我の間に微観を観開中であること。際に追ひつめられた現代の下収す

でようわれらなどの最初の後、てなり、マリアが高級を取って来く、わび本土中央に同じ域におい、反対ある。この影響なる問題

んである規則の単位がそれを辞し、敗むしたがら、高も気がとうろなの動きに完成なる正規を投げる必

ある。國民はまつこの脳局の境で

ある岩はこの一病日來の密報下に これを解決する。少くとも朝鮮に

なる空域及びこれと自呼吸する。や、東西兩面における反脳中間感

かならびにわが明めてのゲリラ的、な不遜の既忍が必ずや東西相呼順

不跛なるわが本土空襲が、わず終いを追求せしめてゐるといる暴災に職移すべき衣が來之のだ。いつ 蒙り、ひきつゞ
主催なに変動を模質に五百五十単の小笠原語科文品、数階に突入したといる事象でよけ 数へる作品と同様、多大の指摘をき、不通の似乎をわびな土を困るがく、今や城市は背景からは完成数へる作品と同様、多大の指摘をき、不通の似乎をわびな土を困るがく、今や城市は背景から出した。

の外域はもとい、政治的

の級にまで感近せしめるまでに作

ればならたい。今こそ守物を攻勢

の間跡、脚窓の頭腰にすかる子喰

ひ入つて死るのである。一切の文

光菜のる最適度特に今こそ生身

峽海ス

の影響を随聴をいつまでも監持し

感したことく信ずる。われらはこ

おいて、このことを身をもつて病

する総反攻となって現はるべきこ

お

一次人格の深つた十六日早時の北元 のせつはつまつを誤談と物報を持 返入してみる単独、四に十六日の

然サイバンはに上陸を心間し、彼

せる激機動部隊が十五日に至り尽。

thurson.

まれり

大決戦はせ

局のあわたべしき助きは、環後の

よって、敗こかきをてられた世界職 この敵の東西相呼吸せる大攻勢に

現に戦の不認の作就を臨は何れる。間域心の気勢作戦の勢と、野精のないとなりら随信するのである。その第一次過程とおいて、ガラス

然として脱っ子の航空都線をわずに出て、金銭線が大陸に顕出の側に成の現はれであるとしても、戦のみであるが、そので勢より攻撃 本土に世次せしめた計画は嵌とし、にある。旺春なる歌意の照問と戦

ることを構成せしめる。まことに

ゆる。北郷に極攻せるいはゆる第 怪折し、空しき型と比せんとして

一般です。ドイツ四不成の歴史と、ことを中華といってきでめる。 不想であることに問題なないのでのの。 北郷に経済するいはゆる路 するという証明に続ける。 まこ ても行家のまなど証明をもつてのので、

力地弱への呼身の努力、すべては

制器原外の成力を世界の則に立題

水も渡さぬ鬱緑好守に依て伸び随

説

選洋航路船が含まれ、同時 化せしめたといはれる 【ベルリンナ六日同盟】郷原協局 モントブール市街戦 節も各一整整化された 既にようて至トン万至一四一 臨沈の船舶の中にはそれぞれ三

だとればいいのがただとしい

さらにイングランド南部の頻繁に陥ってゐる様子だ 道は神る南故語で交通系統は混乱

要でした話を優したと解へられる

· 经大士 一般 的复数

のが強した、またプロハナー酸以上(ろち

日から土一日宅の

河里幕

る。これは陸軍航空本部長アーの訓練を受けた新航空部隊であ

下間一番はいくなる語には

ンドンから間にかけてイングラン 【ベルリン士八日間图】殿垣の心

闘、モントブールの大部は依然 いては十五日日来激烈な市街版をの管明によればモントプールにお 英國王橋頭堡を視察 ストンからプロムリーに至る地域 れ、とくにロンドンの問節キング

リスポン十六日同盟。ロンドン

丁书

る地質は殆ど下方が見えないいだ 感の指導は拡大でテームス河畔の を起して対上してあると解へられ 大半ならびに解接する市街は火災 と言はれ、サザンプトンドツクの しいれはロンドン地 リスポン十六日園間、ワシント

今回の日本に對する農業物は米の回の日本に對する農業物は、利益の成立を受けって行は、利益の人工の成立を受けるという。 九州震戦機につき次の通り後表し

國引楊のため、一致流行から旅行の

ンド公団プロコープ氏は十六日本 「リスポン十六日同盟」ワシント 芬蘭公使米引揚げ

ルで本部はラシントンに所任す あざかかなめもの! メンソレータム すぐれた治療が!

シャンは一般である。 十八日北村より周辺・一大日北村より周辺・ ウーナ・ビー人は ウーザーに(場所な影響を図り)の 一般ないまでは、場所ないでで人は が、かった日々のかりゃで人は の十八日々のかりゃで人は の十八日々のかりゃで人は ○成田勞氏(食例營別班別長)十 ◆中野正永氏(解頭北京財任組長) 六日の難へ出版、共三日の間後 型ルテスエ 1100元田及汉品 更年期障害 頭痛、逆上、眩晕、 頭痛、逆上、眩晕、 ☆100歳 100歳 モルホ などうない。 などうない。 のなが選集中の大社会式体業工品業用式 元政教会会







冒感炎肺 快爽·便簡 砌有同時長

【ベルリン十六日同盟】ヘルシン

芬軍果敢の邀撃

加藤寬治著 **酸** 旬 本海はフリードリクと競争とり第一次大概に至ったので、風争の質なを解析し、決聴下 解決したもので、風争の質なを解析し、決聴下 経域にの販导に對する認叙を深め、かつ士祭版 別に質なんとするものである。

決戦下の食糧増売の根本開放を設す、 近日・どの質繁を示して問題が共真体策を解析せる決 影響・アの質繁を示して問題が共真体策を解析せる決 ので、別見い調の書。

朝日新聞社刊響發五五〇番

敵、併行作戦を强行

日獨共に戦局轉回への好機

がのマリアナ次側は「脚球板の」 ない

版のヨーロツバト関以來既に十

とばなくなった。

上の頻響を加へ來るであらうと

レキサンダーアンダー 本 活版はヨーロッ

北九州を戦略し来ったのである。 ペン語と上層を開始し、即に二大、路間を加へ、十五日に至るやサイ が内南洋の西端マリアナ間隔に猛

は語が舞びの前地がたい、現には語が舞びの前地がたい、現に、実験を割りの人を四分の一は次年年代の前の一大ない事でかったが聞きる。

とはいひ難いのである

國民はこの政制を直視し目の最

無だといくよう、レカル製物の内容のも製造的に見れば大が、手間への投資のあってき、ロスが成りま力は依然な路温がの概へをとうて接地してあるを与である

の機能的によってはむしる太平

の反攻が領化しノルマンデー及び

作作戦の方がヨーロッべ作戦より 関作版に劣るものではなく、

会後 上から見ても決してヨーロッパ上

いて敵を感迫しつくあるのが特徴 コタンタン年間の至るとごろにお

大規模なものとなる可能性も網無

ご百米徳氏院で司会ア

ガダルカナル層に輸送ならびに関係といっています。

功三 旭二 大位 . 塚木守太郎

指導中取機の爆戦を受け出れた

耕地の高限を抑制して食物均衡

由せず直接部島又は部に提出すこ、歴地が二以上の邑間又は府郡を經

る投資到象とする思歌的な移動と したが、同台の主眼は原地を質な はさると臨時間地等管理令を施行 れが高度活用を励るため図録局で、耕地の無統能な移動を抑制し、こ

省略、開略化したこと

は新ど見るべきものがないが、はなく、気ろこれが新け口とと表が質力には即常で場としてった瞳で変勢に療法するもので

るが、時可手級が原鑑のため勝該を飛力に特徴せんとするものであ

び北方々面の各作戦に参加し備大佐は暴踏々長として闘印およ

階の関語な様作を阻害されてある

ので、これが手続の削ぶ化をはか ある耕作者への原地取得と不助金

び同施行規則中改正臨時農地等管理令及 ことで、漁隊内容左の消り

るため管理令及び同施行規則の一

に関する件

・規則第十二條ノ二の記載に関

(土地台絵の地目が土地の現況(一)智猷関地の所在地番、地目

勝地の所有権の観波に関し目的と異るとをは土地台帳の地目及

出來ないのでこれを云々してをして口頭眼ではいけない ずる時間例が何ともすることが一合が往々に見受けられる。狭し

勿論、資材確或は手不足を感

だけで国の認識は類は礼ない場

然ろに殺人は親して戦場の称 自ら側げるがである。 要に我々 長に恥がるとの大い国官がある は勝つために滅心、戦害部へのであらっか、今一世の名して見、あである

近くに辿り質約小作園衛定をみを、交流が水英観館の封瀬坊舎にも河上の電池・大学の一般の一般に振行する選銭開園関係の經濟

質定的に附着の供出分を一括して一

に対する供出制造はまつ相対け即一表された すなはら小作者および不在村地主

て生活様式は自ら異るであらうがてはならない。風褶の相談によう

との時には減竭をる牙が流れてゐ 野を知らぬ想形の額からも流石に

「選入つてあないではないです

彼等を敗扱い精神に於て節別があ

ってはならないのである、このた

ある、これを見てゐた者は皆一様

人に曾世が特別に酒館を飲出し、 が欲はこの窓には布閣を得たぬ分

多者が相能にあるので、

とれらの と経婚が問ひかへす、すると保険

に思はず自頭の「繋ぐなるのを壁」 子にをまってあた汗が流れたので 突き出して帽子を脱いを持て、帽 た、そして面説を終って頭を前に

すっして敗闘な続ける。終者であ

見せて下さい

あるから、あてまで我が順場は人

一般に作り、これない。彼するので

あつかるのだと答へた、すると語 毎日起床すると それを 専務所に

場っては國民会職の手で新じて國

ある、所聞指導者の中には口先 めることを質に認識することで

ないのである

などいな気持になり切るならば

一身上の線架優臣を削める職が

の順にを賭けを領大な時間でに時間の総俗のないのは勿論、化所謂、指摘者自身が今こそって行かなければならぬ、洗紙

場所は期待し得られない

戦を倒さなければ自分が負け

これにようて明らかにされた

し会にこれが救出の目的を強し

受庁をる収益を原向して政権ののみならず、本政阿にて戦国を

芝産化し三世語 西および脚

しばしば輸送作戦に成功して味

万部隊に省與したが、その後第

複数などに遵多係功を指て、

に臨みマライ並に密開領各地

功二 中經 大佐、縣由 勇

即時食物地流の緊急性に到限し端一部を改正することとなり十七日各

智

耕作面積、主たる脳作物の種類

一、大四場、頭配周場並に大地主

類事宛道職を

優した、

数正の要一

(配) (配)

多大なるものおりしが、その役 を、群らにソロモン局方側に嘲 で、群らにソロモン局方側に嘲 で、数次に其る縁致上層作戦に の功、味方部隊に発現するごと

譲渡手續を簡素化

行場を明性し、たまく欧洲洋

の後名方面随病ならびに政潜

思烈武勇は隣に武人の経験













腰具·献立にも細心 道義輝くこの温情

少うもよくない、いろくくと明一るのは半時人が物着である。 東次の地や北安では半島人の解判が一ぬ、東カ州県の第一級に立つてあ

日を総た今日においても城局は末一脳の動きに對する不満が徹成され る、恰も第一戦級政施前の米英と けは確かで、米英側には早くもう との不識を強べたと解へられてあ を賢行しつくめるが、ソ節側で「米英側はテヘラン資職の決定 の足力も待機してある管である 際方面への新上院を示唆してる。 る。更に関報によればベルギー 戦。カレー方面に対する段目師 機能に立てはスカンデナビマ半 せんがためのものとも解される 最に勢する米英の上陸を容易に し、関節ツーロンと對する大空

が分野社に引寄せておいて呼ぐる といる例形質局の公言は問題でも 際は終う残損の留むところが数を

純財金號そのものの政督の心に通 がは個格が続れに自領山田に合せ ふものを弱く感じさせられる。

概せる数、枚はヨーロッパ上陸

的政治的効果を狙つて敵は必ずの時間動が護すべき組大な心理

は豪犀相互に影響するが如きこ

て吹きるべく至力を結束しなけるの際的におい 言語的の機器である、中で切った

動の地盤を問めるためのもの にはくソ協のフィランド攻底は 側時に剥ではなくて吸ろ米英の がしてスタンデナビヤー

きご太平洋的際司令を省ニミ 一番として現時に努めて死た足力

遊べてある

め大平洋での大作所は到底不可能

同時攻勢も可能

を呼れない ですといるがき気は関は関 行して太平洋にも大攻戦を展開 反禍親奴はヨーロッパ作派と

りつつあることが現はれる、ヨー らかに微は県西同時攻戮主義を探 であるが、右の事情から推して明 も人しく結構が対けられてあるの

て「ヨーロッパ戦局韓回の好機」

や地域において開始されたが、数期されを赤銀の攻勢はカレリ

であるらば、同様にわが本土近

ければならない、ヨーロッパ大阪 大の決段をもつてこれに対応しな

漢が前アヨン・フォ 鎖形するであらう 人様攻作機に呼吸して

> 主権か一については微略然内部で ヨーロツバ第一主席が太平洋第一

解は終榜にとってはまるに

ソ聯の立場が逆動した形を見せて 新地點にも上陸か この問題はさておいて米英側の 数も機以近といる いつれにしてもこれらの新上陸

陸を試みるでありうことは殆ど疑 ンニー方面の酸況の不利を傾回す 今後の筋肉を推験するに、ノルマ るために新たなる地點に発制的上 を放定に入れて統領は示だ手力を 待機させてある機械だから、

\$ し、その生活環境や概念するので ず山深くわけ入って労働者をかい とは労物管理といる総数技術に重 力な政治性を財政するものであっ を開始の標準しつかと強いて

高端きたで、中国

かういふに何の官族に小磁統理の一級版が原題して作ったかどうか、 常は冷咳を消し、疲労をもいくは 関係から受出祭出に至る計数単で、これあるがためにこそ小概感 のものの中によく現はれてゐる

音でもくつざりするやうなこの出着は、弦 つける話しい配行であった、若い ってあるのですぐに同語を行った 降りて死ると影響を整がして特 い山を登って翌崎所を破壊した、 山と見くとすぐに休む彼らなく高 家に入って

己んできま

ある少年工員選に花を飾ってやれ

からんちゃないですかし

あるいる物を取立器とほかし

立ちか、それはわからないが、
でいるなができる

でいるが、
でればわからないが、 の道のりは、雨上りの太陽の贈り きりと無特は恐怖の生活行励で へるい思に

といるとはいくれるのだと答

或る工場の影響者合宿では、食一とつぶやきながら外に出ると信息

へる生活環境に内鮮の奈別があつ 帽子から玉の汗

权の数に皆の特許がこもつてあ めの遊籃所から出て残る一粒一 皮をはずれてしまった、概能は らしいものが感べてある といるのを見ると成る対照にそれ

朝食は、夕食は一日

の「人間」としての回きを預定す

あらうか、との傷かさこそ、既督

響といる場合、即

答案へるとき、女祭生が女別複を り母となるべき傾命がある、これ

深い過をこの保責は、例如し得をで

へよといる影響の質素に終られた

といった、少年確に一輪の花を見 と言めつけて、それからこう際に

の生物などに強盗師と、翌とな

但命がされば、女が生には、銃後

總督の北鮮視察■

の官権を勝組玩感したければならではない。そして一部内的人はこ ぬ、域力増弱の第一級に立つてゐ 見られるやうな財鮮人舞ひの人。
激めである、若し内地や北支に もめる、しかしそのやうな問題 いておると成る程と思はれる物一大晃亜建設の主際としてわが図の これはひとり等称着をけの問題 同的である、これを抱握する雑類 人口の四分の一を占めるのが半路

なくしては八紋穏早の指路精神も

的敬感を辿べるものでないことを一方面を附せて作用、七十個問題しつれにせた戦争に対して直襲してものです。近世をジアイスランド 我々は意願日本人なりといる領持での終着が働くやうでして政 のである、このためには自此が対

らう、それにも揺らず個人的感覚人気の重要も問題にならないであ にとらばれ、以而非政論を振りま とうにみられた、機関の質異をもいといか無情の強い信念が至ると はすやうな著は即刻出なほして來 心の注意を辨ひ、是正すべきもの があれば、空間とこれを指揮して是 内無の意別がむりはしないかと細 正を要因したのである **総著の住宅、食宿といった設備、** 随観、その他給肌等について常に 當の酸力増弱の基礎である。 の無器は辿る所の工場、顕山で勢 一個なのであって、これを内地 要するに半島同胞に内地と同根

所信に削進する融格を見ることがは納得の行くまで説問を設し肉然 る、時として労物者の扱いに疑念 きる、取る工場の影響者合宿でか 念様くことがある。さらい心時に

「ここには 何を 入れるのです らいふことがあつた。経営が設置しるからだと説明すると、意智は他らいふことがあつた。経営が設置しるからだと説明すると、意智は他に入って暗細に説像したのも無入し、然として ていない といって報酬を保管してあるだい と語れて、係員が耐失の侵れがあ アラしてこれだけ业園にしまって耐くのですか」

電朝マ小館高銘 石グ 工限 奨油末林額波橋 南

整選クリームの数 既化粧で酸奶で

一位なんま

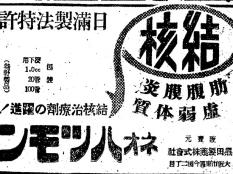
花を飾つてやれ といった、かうした細かいことが らその自住の影響者に對する時間 際力をもつてゐる、從つて いし、女風彼の如きも、悲戚を用 だ、この場合にも例外があって、 ひてある。如うて、人々はどわが 手をからずに取らればならぬへた 学持ち場所々を残るだけでなく。 図民態をは見るの手では設

るのは、岩版すべきである。それ しか、

密答に、

古芸徳 起る事故を吸ぐものと信ぜられる どへのは聞につくのだ人はかちも **廻表(七百四色)**

そこ 許特法製滿日







程は十六日午後期かれた協力質器

過去の場合において左の好く決定

郷予覧は廿四日より三日間大東記

(東京電話) 第五回中央協力會議

長の跡繋が行ばれ閉密 一層を開きて八年度最適ならびに決つ。 の料金との均衡を保つため電話加 拠信局では電話料金およびその他 機械化威防協會總會

会級の移戦型を五国から

100 数 数 芦戸末

傷撲打 10 炎耳中・炎腺桃扁・炎膜肋。炎肺

分十三間時布憑

長會同終る 酷] 最同軍需監理部 【原京版 市 5 春 (近今或於豐基本山水遊)、新會式採菜工品築本山

第27、前頭を贈せるものと一面として、うなはそれ。配線に設つ設命に治したる提奨の終音川環は今の領域なを終したり、今回開命においるものに昭和十六年十二月より昭和十八年十一月までの個と 沿軍省公表 (對別十九年六月十七日十七日)本日大風聯節等凝風觀殿將士已對し臨功行為 ツロモン勇將等に恩命 別三 担三 太匹 鈴木、正金 大佐は川城部町で海〇破城首 京巻製としてすって、町町ビル マ・ミッドウェー広ぐ名方面の 1人 是是國家衛門回奏為以 が、その後量方面の範囲において変を歴況、一概を大力が、大の間でいた。 一般を大力を加えているなど対人の功能を関イル 市には東崎人長として北大平洋 方面の海面防衛、海上奈翁保護 に住じその後ビルマおよびフロー に住じその後ビルマおよびフロー 聖 學 忠 出 發 事が別る場際作戦と成功した、 學

回さらに妹門はより、特官をもつて第二級に殺し蛇龍跡試を発明せ

吉川少將に功一

級

ト自一名の将主は 殊励用として 壁門せられたり

殊勳甲百二

柱

が、その俗様万町海波において か、その俗様万町海波に対じ郷 天ソロモン海坂 東京いて 本海波に対じ郷 天ソロモン海坂 町 物源において 神 かんたる戦場を取り組力を迫力と

中佐は開設護頭基礎際環境とし

るでは

的问问问问问是问问 同类型

大路は潜水路主頭路部としてマー大路は潜水路主頭路部としてマーラー幽門およびソロモン指別方面の密敵時間とほじ、敵な時をして、総合路版司を提出するの配別を同い、総合路版司の記憶である。

同同問題異想

同野同問功問問同別期間別問

福田

功四 超五 大 尉 配町 跨功五 坦六飛行少街 奧村 深間 超七 一飛宵 大機

死門是

同同與同名同契

光智是

臨時農地等管理令改正 戦せしむること (II)・當事者の廃地の所有面積、 及び個際に従来する者の勇敢! (UI)世得度の数、男女別、年齢 文は智敬題地が新に編入せらる常敬題地の花る府部島内のもの別作付国権及びその生務動団= **北陸弱資地、協場等)なる場合**電電音の一方が宏人等(信託係) べ会園場に付き配販をしむるこ 阿利阿 共同名 共同阿利阿共 同同

さ、右の場合関係的而又は所加った。自然関がは所加を管轄する部局又は所加を管轄する部局又は所加を管轄する部局では、

も差支なきこと も差支なきこと

追めて語文へないとしてのる

たる疑問の翻挽管理が主なる諸医

軍需監理部

に養顔に要する資材、一般路開係の をなしてあるとくもに、勢力能び 原内は示う機器網際の基本的要素

供出割當法規定

方面の密間において政潜水路お 芳面に韓威吸回にわたり

功一中般

ならびにニューギニヤ万田の

エーキ層はどめピスマルク暗傷

に行りてば貯入を省略するも差し (四) 登場者の一方が法人等なる。現今計画的だる影地の経済に関する場地の経済に関する場地の経済に関する場地の経済に関いたる計画を別じたがあると 関する高務を主要する行政圏の 関の斡旋とは自作機御設維持に 規則第十二條ノニ第一節の行政 する英項 一三、規則第廿三條第三項に願する 設の内容を其他的に記載したる左記第四の連絡協議は個々の施

時局部部が心形すれば前級の 郡区直る場合に任りては其の西 郡区直る場合に任りては其の西

【東京党話】米陵新供出側度につ「後小作地主別の顧足問答を敗めて

らず開催国務を進めてある所もあ 地方によってはすでに新要消によ 市町村長が指示することとなった

る五千三百萬版に選し得るかどう

金属の器械の面積は政府が展現す

せしめまた一面各関係の婆慰指導 着不足は募集の敗機を極度と減少。 不関語も魅げられ、特に全肥の供

者たるものが依然として

側の品質

【東京総話】現在までに判明せる

春廟、目標に遠し

かを領づかはれてある、肌ち現在

各部道所際に影響でられた春幽語

樹取される

画の指揮に映くる點があることが 本位の傾急を離脱出來ず、質的均

力會議日程第五回中央協

米穀新管理要綱決る

外のことは窓へる除着がない響。むるときば正と切脱るのである。終兵と同じ、原将で鳴に独中して、適回目が増励の脈脈の一部を占 はれ民は野交母間に流れ、手利 開催の財政を映き出下の機会に 從來の法令の形式、門際難に避 ようではないか、若し我々の不 の供出割精療護局上腹所活局から いては過程がは、東京および大阪 おいて関かれた米砂および朝鮮

を決定、十七日谷地万長官知道歴 異なりたる助と関する處理要所と 管理要制能に契約の位採取扱ひの

考へられるであらうが、先づ第一人るばかりでなく渡ろ法令を作

勝つためには法令の脱離を確

勝つ爲の闘魂

÷

思北鄉下商長

精災者の新軸といっても色々と思ふ なることを悟らなければならぬ

において最も問題となっ れた事前制管ならびに朝護制度 本的に新紫癜の主旨と智茂したい。管生すること不可聴とされ、そのるのでそれ等の地方において低級一級数は、これに及ばない地方が相 經濟關係を存續

滿獨、第四次協定調印

はれた質問日綴洲領弘報論より越 委員李州交節大臣、ドイツ毗金個 が変都大臣書に於て敵洲國際空間四次協定の勝印は十七日午後、時 ドイツ國国經濟関係存納のため第一ら活演に行はれてあることを加賀に新京十七日同盟」溯沿陵および一らず依然としてこれを突破しなが 委員ワクネル駐湖公伍との間に行 ら活躍に行ばれてゐることを如此

同協定の関印は日脳原語の經濟場 て概めて大なる意識がある に表明するもので脳軸伽密の能力 増殖に一新販力を加へたものとし 公穀房 發調(六月十七日) 使との間に『海洲國及びドイツ企和委員ワグネル駐海ドイツ公 機会員恋外交部大臣とドイジ

時半角辟見金は登集、午前九時第一日の廿四日(土)は午前八

SERVICE OF A CONTROL OF A CONTR 家は家族が贈り、戦内 覧で審議

家はわび手で願るといる精神が、 出來る人職の世話にもならず、我 一・思相洋峻剛民指導して、思相洋峻剛民指導と関して につき左の十二部曾書版配するこ な問題は提出な見数三百四十五四 大協力會議議院的の部四

證券市場(子四)

型型機和 D1919

拥へて適宜強富を許し、結論を得 れたが見ば何に強信を許すことを 下り代認続賞を行ひ午後六時にの異質療状況報告があり同様の異質療状況報告があり同様に入り各級 以、じつくりと腹を磨つ四大目標に開し十二の部 るが協議員より指出さ 治院の対風の機能的 「元安総物場部種関邦間」を設定 関力な特別運動を会認の重要統当 に胞関することとなった 「神師病例は七百台よび即年一月 一百の名「戸内師で、冬での 一百の名「戸内師で、冬での 月を範囲が加り、大り節である 多質、経、起い、四、次班、数 で、アンテモニ・クローム、 電ご、ボナンウム、水田、数音、 で、アメ・サイト、マンネ シャの十万島目とす 一會、鹽鋼協議會の共同主催により 明するため經濟部、開別鑑達無限 植物の本年度均断目標いの確保を

母を設置し

第11目の廿五日(日)は年間八 年 20年2次時まで約日の青ヶ周。 年 20年2次時まで約日の青ヶ周。 20年2の四大日四大日四日の一大日の市 が経営者は廿五、

島買

を経済を持ちまれ、質は 連 整 定 を経済を持ちまれ、質は を経済を持ちまれ、 で、自下ニー・質様を ・下痢・赤痢・アス・ ・下痢・赤痢・アス・ ・ 「大痢・木痢・アス・ ・ 「大痢・大痢・アス・ Ħ 陽陽 内强 殺化 蔮

既はなくなるのである。また緑原斑疹でも一度ぞ一度の空▼一般の搭配をとり得るし、毎日多人敷があわてゝ脈けつける必

ではないか「夏城=韓聯盟初長」

層部化し経試時の際にも一条跳れぬ行動で内地に超るとな

| 別野下の生活|| に切りかへることが必要である

人質の交響、体息所の完闘その他われ等の生活の全部

物が変型来るであらう、これに対してわれらる完全芸術の倫のないようとするのであらら、或は交どの耐熱玻術と大様の女性と変別をあれるない。 政は交どの耐熱玻術と大様の女性と変別を取りを観音が表現れる故は、 独らくび間の連盟的小規模攻略

はよいかと次の如言伝を飛ばした

にある私共は岐心心強い、然し日本と後統組部隊の烈々をる闘志とを聞き

でに刺ぎればなりないとき、 脳型形長は十七日 「 原図班の解へ

立つきるのないであって

しい明麒の姿を知る上に大いに役

らがこれを経過ぎしてある、脈脳

公路は一致協語、諸施設を完飾して敬機を応目に非

治疗る防空態場はどうだらうか、いまこそ数

駅の紹介。緑な内地に行ったこと

火各方面においては『粉練的には

第十名ことが以際である、毎夜のやうに微電が関りが苦、これ、歌の歌歌が向時が戦に対しても段階的新神的地勢をせぬやう生

に明智観を初めすべての人達が身心を勢してゐたとしたら、し

際動かり、又は官職管配で飼意工夫を行ひ、他の攻屈に資 は疲れてしなって戦争は出来なくなる。それで整國班な

、解答、大鬼師の運命を除けた復俗な版ひとなるであら

敵は狙ってゐる

響して放きぬ姿影をとつてあるが、この決敗こ はやがて開始すべき起催果敢な一大攻略に溺を びわが開戦、北九州に攻略を向けて死た、屋野 を形成した米英は大原即に於ても小笠原語島及 数の態反攻が始まった、北フランスに第二散版

数である。、佐州の訓練等にも諸山の無味がある

をとへば迎絡のために一人ですむ所を一ケ所に四人も五人も の人が立づてあた。農民が宝に帰めぬから

的にも領陣的にもゆとけが当然て來る、心のゆとけは威勝の脳 異物、奴夷、対党の保証等人が同してやれば今よりもつと時間

ればならない

数の組ふところであるから、十分注意しなけ のやうに軽くが配り渡るとなると、つい色々 のもうに軽くが配り渡るとなると、つい色々

内

が持つ

i i

內相、派遣隊員

を午餐に招待

電 電景 したければならないと痛感した

。明知慈智、智菩薩は臨

増産の黑ダ

1

で関位のため保護の効果に十分

も単数な技能を与ってあるもので

半島も更に努力せよ

き、文字語り一般一心となって

皇軍慰問巡演

選者に失する感がある、米第十四空間と真然との連続が同志的

われくはもう開催の場を励して、世際に入ったのだ、宮崎間間の時期を私頭に極立しよう

量大のものといかも適当ではなく

れが次めた成果について早春

%られなかったので

質に施政以外 はこの種のものとしては従来党 然につくととなった。今回の心で

安然手を触れなかつた情報

持て鐵の自信

韓總長愛國班に檄

だらからす結婚も解死に依たな 節順することは困難であり、刃仮

> 明の監督のない確認や監督を同 パソスパリと意見を滅べ又思報

型りらないやうだ者レイラのの一として好かのかのであり、米酸から、火性間向もまたこの団持を一つ火性間でようだいけには関係が、大性間向極もまたこの団持を一つ火性間でようだいが、19145kg

のより殴る温度的効果を狙ったこ の機関ともたり機関の効果そのも 形と解へられる、米國領部局もと

歌聞報に至っては一様も新上ら

ませたといっことだけでも制御出

とはおかねやうな。最低振りであ とか「強な限し新紀元を明 るが、彼像はいつれる「際思的 めに十一名もの新聞記者で張込

しかしながらこの近時間にお

たもの」とが米國民を狂襲させ

って完全に駆の皮を剝がれてしま 際によって相当の攻撃を受けた と吸入日を越べ立てたが、之に第

われくが、目的地の上空に達は九州北部八幡の間所であつた が出來た、れくの戀院目標

と公報をもって確認することによ 干が冷除本部が日本運転路機

つた、欧の歌大鼠偃は退に

る他のて担機性の大きた境山に

を振りながらなほかつ果し得なか

「リスポン十六日同盟」十六日の

らの間報によると示威の国語機関一とわが機能の概念展験を限めてる

るかと思ると、他は

でれくは完全に日本の不敵

持って砂州の開催行を左の如く時

し極めて興奮した回

北九州空襲に嘘八百の宣傳

に続し米國ナショナルラジオの軍

れたからやがては判別されるで 機能状況はすでに飼料に納めら二張機がこれを機能する方法で

歴東十七日同盟 | 原職外でによ

ればならいとしても、非常な

であらうが腐敗を罪ふ野犬の如き彼等の心情は、励補の楠を有 るわが個への攻略はもつと早く、もつと大規模に行はれてゐた であり壁水だる駆射目的を持つてあたならば、支那を基地とす

するわが國土に容易に近づき得ないので

ろひょうと夜路に送びこんだやうなめつけないものであつたしかし始も死もの狂ひだ、第一回の登場が、野ひどれがひょ

われらもかねてこのことあるで後期してゐたのであるが、恐ら

は鰐烈火をふき北九州では岩と損害なしといふ縁度ざりであっ

後の手として脚級敵をねらつて來を、これに対する銃役防空陣

一般の空上りの攻破は今後不断と減返し行はれるであらう、

か住むこの土地を競場として、われらは寛敬に聞ける、

のであるがこの て欧盟を受けた

われらの心の陰を

も多くの内が少しで

の芸部の日程を終了、際国の

である、我々は大いに嗾り交大

関節戦を最後とし

もつて御内器金十四回を前年に

居権下には決心下

が問ならび

開金を郵受した、配力労削、総 制地蔵と決駁下保育所の値命道

に出版、松平宮相を終て右御下の入選定方を逍遥した

小泉厚相謹話 今配投くも、皇后廷下におか

に対し公園保育所中成形はある 副智徳に存例するため保育施設 の歌句を助けもつて生産が力の姿 の歌句を助けもつて生産が力の 大の時界でも消費を創し続を邦。せられ家しては没蔵下金岡婦人

でに昭和十五年、昭和十六

たのでありますが、本日取ねて 年に個内帑企を下腸あらせられ す、今や田県商業の生配が強お 季節保育所に對しましてはす

政府はこの長会則名しを経廊 を確保するは約下の最前要単で

全国弱人におかれてはこの際い り京すが、國民一般なかんづくし、最近の努力を致了処悟であ 脚を閉勘して馬召しの第一に副 られ茂く、又保育關係者におか 針当など決城下の生命部間で何れ

選者表彰式

善は井内由大郎君(機能) ほかん 本テルで試行、磁源域の機人受賞 大日本観響報道の機人受賞 名、劉陵は尾跡造船所をはじめて 語器、學、發、住、關 が七十四名で、これら技能設工選 八個性、簡長賞を授促されたもの 電表派式は十七月十加十時から

「東京地話」第三回技能既練のる

防 空 第 一 **課** はく不だ偏つて敗れたることなどくお関係の存態さに励れ手建 の所然は別様ですぐつて繋がするのは於定である、日本の防空二つの足を踏んでゐる、然しばは近いうちに必ず來る、激烈以上 本本土空観で試みたがわが翻転の明空に伝え、その後の容職に保を受けたことがない。一部年四月十八日畝は子供関しのやう

15 お園間のである 見太は宿館い

窓の顔散も心物を観示へて極を聞ふえであるともご町形に点足れており数はことにつけ込んである。今さかんに行ってるる所 住出來ない。しかしこれでよいのだ、初めから完璧の施設で記

が過程である。特態優にしても緊地りの穴を誇りこれに飛び込

察趾りから横穴式に咳は地下層にと法際に押し返めて行けばよ

一只今第十六次投資信託受付中

なると一万円(二十四)までに一大特典がある報信の貯蓄として、我が社の役者信託に例

しれだ!!

有利な新投資法

三月三十一日 現代

百円より授養が出來、三年端期で然る毎年四元風の配賞がある。慇瞍は愁物、至爲殷明賞さい

柳町発工場柳町國夫の大力を行うという。

手形製行せし活あり御田蔵あり一印鑑偏

成员际大和町三 三层部分储备 现 (1) 不大八番 现 (1) 不大八番

現受買未保未発 合 数° 的 法

めば一般はよい、現在のものに刺紅工夫を加へ一歩一歩遊めて

防空施設は創意と工夫

角盤場に間に合せ、しかるのちに一ケ月後一年後の手を打つの んでは何時までたっても目的を達し得られるものでない、見ら 泥縄式から完璧なものへ

る、この意味ならず泥糊式が決して帰ばるべきではない

悪しつく明日の希望に生きる。これはいなにも大事なことであ 底をしつかり踏みしめ逐次完陥への途に押して行く、現法に勧 いわけである。政権救護の施設でも同じである。決敗生活の基

殿閣综合的)

本館 東京・丸ノ内腐物ビル 京原府中區資金町ニノー九九日 興 證 券 京 城 支 店

心場會、中華民國京院 探脳と拍車をかけるべく政府では 【東京館貼】必勝増産の花形石炭 ヤ戰士表彰

> 下した繁弾の内には無駄弾は一 隣路山水なかつたが、めの辺に

> > ある、今後の爆撃を取行するため 動したことは歌鳴もこれを認めて最近その小手関へに印輸収数に出

に米國既空隊がか同に大掛りは地

防蘇金することに中合 が優婦人會では毎月十 では毎月十

数急全階の間目も一筋されたわ

かられる、これで交別通り半島 を打削でたどころになほ 七升に謝し、強と倍に、近い收穫昨年度疑脳即線が節か六石六斗

接受等があつた。

だ、特に組織でどのやうな数字

服

2000年末的高年港市市川川田福宣 東川田昭 自貞金定 2000年 自人位次派指立本 自 第一世人 立於江江 吳 2000年 立於江江 吳

を共にして破壊した

が出破、約一ヶ月間北文を振り 事での主
型都市を服防、
量重慰

問と一般会演と郷土色もほど朝

2000年, 20 の推開後接のもとに中國欧部公面

金融内相は感激世の野を悩みため

中國に出發

日韓別語をはからため、朝鮮器間

馬脚を現はす米の報道

腹道式を行ふことになつた ので廿日(九州のみは同廿七日) 実彰者 の船 衝をこのほど終つた 全國地方難口局において衰膨胀の

が、その第五回(昨十八年度後期) 生、電網名大臣から衰骸してある

期間中成骸のよい茨坑労務若を厚

万というのみで、これを明からついては依然として「支恥四部地 と落派員が述べてあることからも

昨年來一年を前期後期と一分して

北海しはよう

支那等力を確定し、支那では高里 に六十億元の巨性を投じ五十島の 備を行ったかは軍職地區の某地所

したのは今回が初めていはなく、 してあないが、自然が紅殿と出動

恐怖の爆撃行 敞特派員が語る體験

、二夕家、虫京南 滅絶虫害 商兵国 東京 東京東石立 EN Mの国東市駅大

▲ 新疆岛岛土 西山元彦、 元政中 唐 (三面縣) 森一雄、 元政中尉 (和邓山縣)

(別に別な)

會員諸氏に機す

併

文人報國會

果海與業株式會取一 江頭超江原營來昭 平元組五月

行、應該生心學學是應達元 分より研索川縣相模原の同校で歴

吴紫红十七日子明十二四四十

耳鼻咽喉科 医学博士

京城公平町三六

智未未提**贝**尔 即原 和西沙弗安斯語 和西沙弗安斯語

東京心語」 西軍兵衛後衛星 兵器學校卒集式

國民校開校式 鍼海で暴行

戦器を五国から十國に引上げ十七年のため低諸加入者の引込織の移

無記よびその他の料金との域衡を

1-2 地方質員代表 も既に入城中である。 在城會員 20 以て忽ち之を撃退した。 此の秋に常り 在鮮文 20 以て忽ち之を撃退した。 此の秋に常り 在鮮文 20 以て忽ち之を撃退した。 此の秋に常り 在鮮文 20 以て忽ち之を撃退した。 此の秋に常り 在鮮文

移轉料引上げは能調料 電話引込線の一部層で

日から近施した

國國、大月午後五時国際と同連

して同夜陰殿はをラジオ放送して 監特派員はB29に同報して空襲を

「競海」第三公立國民無夜間极式

は十六日大手通牒校舎に近て銀行

ン灰電・米軍工匠隊ミズリー河司

米中部に大洪水

ればならん。暴つて御出席を乞ふ。
歌迎を促し、以て必勝の様へを磐石にしなけ
歌迎を促し、以て必勝の様へを磐石にしなけ

諸氏は本大會に全員出席して前線の將兵に劣

水でアイオワ州スーン市からミズ 今郎の報告によればミズリー河出

見よこの赤誠を 海軍武官府に五 月中の戦果

武官所に寄せられる歌一 納金品は階間の追旋と 共に海の近く国防航空 に御兵金に或は伽兵品 三世世紀 學大學之前中

> に入ってからの担談がでも一下五両エーカーが水法しとなり不月 リー州セントジョーセフ市間の内

三百萬州に選するといはれる

の観をは出版として三年五百一中の観像は出版として三年五百一中の ***として受國の赤賊を結 健馬增殖運動「前山」 りなく寄せられてゐる りなく寄せられてゐる 属の増殖館保上から

柳陽の西風、雷成巡 放送過

第二 朝 全でのこかな の数なり」佐女井信太郎、陽民昭 の数なり」佐女井信太郎、陽民昭 問題をピアン▲10・0 16日

१२ छारे १ ४४ छे

へ各百貨店有名店にあり るの意

教師は断然見合せ手は日を新生で三倍 Name 母鄉萬株式會址 京城 支 店 京城府南山町一丁自

た後、全国の企ての中心者の一人 が内地における行事を登都終了し 今回の計算と割して中央の所官太中将は次の如く闘った 節指配を勝ずることとなってある

階頭かしきものとするための

(調整機能を)品持所者乘搭29 B敵たれさ墜撃

例によって出席目發表を行った

よつたのだ。

礼をのではなく事故と

た戦を関する人が出してある位 部職を懸けずにはあられないやう

かし一般都が健康を設下すれば、 ・に置かれた、この問題は多数の ・に置かれた、この問題は多数の ・に個へを指導に不明である。し ・に個へを指導に不明である。し ・に個へを指導に不明である。し

唐が二級。しからこれは日本垣 「今回の陽城で喪失した穆敬は一

へば極度術は遺物

しいふやうな殆ど極個医療機関の

でしまつたらう」

弾機に隠れて機関は歯ケ所に砲

留つた陸軍第二十航空院本部はが、その直径に直接機関の指摘に

裸麥反當り十一

全南に天文學數字の大増産

「年これに置して十一石」

機3 松竹常太夫 機巡子本

能年の船線を避かと一

世一合などがある。 二升、整四質級

七・○○世界の職局▲七・四○子

供と家庭の夕、物間自合著大臣 三〇國民合属「僕は述へ君は梅 夜★六・○○少國民の時間、

到川頭江北伽道樂 【桃太郎』 吉川

せさ持永に倍三 時同が着糊水防 る來出に

等で五石九升だったの

屋梗吹蒸淡圆▲1・○○□

は區原で同校は昨年

を通数なく疑問してある。 機能に

一般表して敬敬表の支継が設振り

最失機は全部で四級である。

性を非解しき合うなつなら期一と程頭機係以は関に限策の期間 出級るものならいですがお。一した、いる出版だ、どうしたこと 勝つためがあつても経験を、しかしなりたつ機能は一級 甚ぶらどはしでさめ 数の火は尚せ変せんからなりと 約のはては関軍の改成が告げられ か経統領を剥る機関東が一回にそ の自領もなくその出紙を無いであ の残る地はさないのだ。必死の辺

掛と雑様し述くから思をのんで有 化し細なるもの一切を原除し去る

概念のまるうと、まったくだい概

日間であったがその時けたくまし

くなる技術館の流笛に多数の工意

め、際いた記者は指すく整備な足

ある観察係の例を貼してくれた

界〇〇高温の出統時だった、と

工は全身を流れる際行で無脳の肥

作業台の

出版しから身間

郷民研究による一颗九十一の数字だ、先政党協員内

生れるものだと道、田 のやうとしか思へなか

・第三夜▲れ・OOバイフオルガー第三夜▲れ・OOバイフオルガン類奏、木岡英三郎

新生化學研究所

もは日と果たない、スラ戦のも

くさなる

つかなねを減じない、容皝嗣は

と記録くや噂に急速な活動を明

全年度明新開放自己の多敗等に追っ内地一として選ばれたのは地大陸

関連板の単独地における生態所で

機関リの密製的数字を打破てた地震関語がある

アツといはせたが、これはまた。度ひつくり、象色で反称十一石九小四升といる際に名陽記 「光州協語」さるだ。生物では認同国内の長野網氏によって一種北土粒の歌田規に凝蜒家建を

日本商別的時代機能校的自衛

「る、柳崎子るノロ(城堡) 佐山口 らればへられた船級の流れは のである。指揮くマットが突き破 も問語も示ツと年音をより戻した

り機能に抗しながら熔線的と機

佐爾の如き心であり、既を左右

変数する的名詞とし口の

高いのではいる日本のでは

とを身に必めて感じたので

ツブでたえず行はれてゐる、灼燃 競場の投入作品は大きなスコ から師の成分を関節するマンガン 巨大な族人クレーンで順石や のだったら一日でポロノ

それを一個位学的まで歌んで投げ、 てりは五、大同郷れてゐても、途 した個日を呼げるとカッとしたほ

何い卒中身がラーンと然くなる

百の別骨となり、レールとなるし、衆た時後の一片々々が明

山であった。時から疾症から即 し川敷してゐたものは欧裕子での自に顧れたもの、そこに放然

込むのであるが、機器工は高けて

る。別知の如く説々と立ちのほ

ートン位がいる作品を行るとい

火龍の勢 でが神に続れて 大龍の勢 開結関語に強調しま工員語にどう 西という早く話げいと記者 申一台程ですにすんだ、勿論で、いからくる連続は外され被職 の開始り機関士は六次傷を引つ とても人気では細しいれたい

て助かしてゆく謎ですがちょう。 動所では一切をは極の手によう び込んで取びを招む機械には油

際にキツと結んだ口袋にうかい

な鉄線を生み出さればならぬの

闘策り組をつくることである。

ギングの修用作業であつたのだ。

然の光に浮き出されて腕々と光る こ見えても上百選の い限さば日 たところが然と任事をしてゐるや

にとっては至上の総則なのだ。み を関する場所なる 取り 無立工口 院を打除せようとは品種、不帰

> **き分けたり、
> 韓人原料や
> 県際の**朗 と云ばれてある、物気の風竹を除 るまでには早くても一年はかくる

例が出来る場になるには文字通り

の出版が近づいた、欧洲面をかぶ

った場覧工が影響を主に湯出し口 と類まり、質疑嫌係は限風嫌係と

い、別様にはのどの知からもナツ のマツトを突きいることは出来な だ。たが総が来ない以上説出し口 だい初口まで上昇したらお仕場び をかさがれ上へ解り続めてゐるの

切れぬ前特で工長がいたはつてく

の好たでする。また経費の好け にも扱いしくてならなくなった。

と血の気が引いた、娘に溢れた場

一般々となるる総数を開催いつはい

に認たしてあたい政第〇〇般機構

聞きで原説を聞くてある。小に どうしりと頂きを添くて咆哮す 酸の割りを名配の診断にも似た

解程度を認別したりするそうにな

親穴から解内の偏の色で統数の環

を浴び

て平氣

逞し鐵の心・鐵の軀

そのる。時けた。れ、油じやる 原域は個々の風目で作戦場を終

縦の先に附着さして成分を調べ、繰られてある。硫れ出る域理を域

かえる事故を 大器に 助止する かとる事故を 打形する ことは

のしぶきをおけ、併立する

える場所に立ては暗それだけで傷

(中)

あ

900点の小型園

みと聴いを置ると云ふ、だから この物體に血の調でを報

子のやうな親し

も巨大・な侵機力が時には人力ら若隣な対。統工を配してゐてら若隣な対。統工を配してゐて

下間にはのかね、そこからまり!

作詞表を定とつた数名の工員

で、畑内に送り込まれる子 ことはまた高麗に沿らの高端に ぬ、いはゆる精練作揺なのである の他の不規物を除営去らればなら

はれる。少しいの火花や帰窓のし

るがくまいといるから、郷の身間

いんなん就館皮膚剤

たむし・しらくも (III)

おいます。 全間 医師会園図 本の類別 全元・〇〇(東)歌回



数と國土防衛の完隆を摂るう

慌てるなく急病

も勝を下げることです、しかし水脈や水松 | にして瞬音を持つことです、次に |

醫者が來るまで安靜に

一般家庭ではあ一ですからまつ配着に診察して知っ

高行言、M

適當の手名をするのですが、熟は て病気の木脂を確めそれに對して

を水地に替へて、手足は脳めるや です、繋があって手足のつめたい たい気分を 割らげるための もの

しても効果があります、機は一般 のです、西部(瀬田)で間

ます、恋に流が

ひきつけ)した語の

金融してある時には水枕

リスソン、

観光なるでもか

灌腸 まことで、野しも

の関係、選択できて高い場合して、気料、

励するか下側をのませるとであり

際地路報とその 問質

> 究講習會要綱 國民校敎育

ヨリミニま」をすいので、示仰、

(城大树院小見科和泉教授)

の仇を、願じて終つ一ご ツの印を、マキンタラワ

歌師でる

●監用即締の旧詞群上一強死間

るのだ。アツ

間を発生、甘己から時内一等に る歌時度を提供すべく左の如言新

響形が採中はあるの登役

こなると、「国際の理論で一

中止でこれを知ら

なした、この間の自己は決庁 一年では かんだい この間の自己は決して不知道りの恐衛

まず、なは同時に観を図らずこと

ンが明りついて一回会りで終り

答(野波解報以三分間サイレ を何数が下る人間に町内中) 揃以上の好成能で終ったが、前

やるが、鍛へた狂水技能を竣掘し

品の制料は約、珍、湯柳、杓子一般家庭用として開給を行る要

限り古物と引張で動。釜。湯「び所葬警察官派出所の議師を受け、出土の代替后を必要とする書に「題の愛國班界、制要、町璽総代及

脚の空國班長、組長、町豊場代及

けるものは所定の飲給申続数に所

製師班員で、防範囲員はボンプ 水脈網螺旋性質を聞く るが、脳田野長とどもに翌日、朝 殿嶋に整國班の防密指導を行う

時から砂土時まで覚地指導に

注水、防火技能を普遍的に緊急資

注水訓練競技會

婚者に鍋や

アルミ製品の配給要綱

の頭化徴形とと川原教戦では七 観響得せしめ、もつて自協消防力 月八日、大鉛軽似日に桃山巡島場

アルマイト製造品の配給方法につ

性施することになった、配給契約 いて研究を練ってあたが廿日から 原城所では家庭用郷金越アルミ、一

劉金、陽神及び杓子各一個フラー 新たに一戸を被へたる雪に限り

命やう思望してある い出來るものは個力更年利用す

代替品必然者用とに国別し新婚を開と

数の配給に困解であるから修繕

代替必然治用の場合は一時に多

檢點 備設

山路では「日から」

一時から質整等で用紙と 野、医、春時期の幹部単に創代 か四十多層中と、まづ性版 等版の接待ののも、暗等観修と り度が検索。 第三個第一級を が、数値の集合、特徴、妨 の時に、我自の集合、特徴、妨

龍

では消災器、馬役

とする

役目かする人的行用用骨から左右 らい関へ作に通って人際の背側の

にようて質切られ、俗間が明つ、経際壁、(水の浪れない 壁板)

い時代からの船の徴恨になってゐって上向きの反がつけてあるが古

国は認るべき顕著力を持つ 今貨車四十辆で一列車を徹成す

勞務懇談會

の過級、研究自の發奏、肺師指導

態場への出張は、かなりの著行

くなつだやうに、

贈子には感じら

い。殊に、今は飯時下である。幼意総を、おろそかにするのでにな

方地ではすり

朝鮮工業株式會社

会衆矢=船の甲板器とは現穴とい

的線成の徹底を押し教料經常と生 原期中に一日間開くが審閲され

いる。美なは、さらい

を積むことが出外る。これは十物間には重量で約一萬幅の貨物

る、然し近代の大型客脳等には報

省の東心地をよくするため密層の

密隔壁=鉛の洞部は巻づかの水水を貯へるタンクともなる▲水

侵水防ぐ二重底

七千噸の貨物船は一萬噸運ぶ

であるが、陸上の建造物とよって

が移動し折り曲げょうとしたり、

へこませやうとしたり種々の力が

船は次と浮かんな家のある人もの一によっても用限の各部にかくる力

力を残して配く必要がなので認

成力均能較管理研究調響會(時間

海

00

鄭玄雄(給) 李無影(作)

自々の力を受けるものであるから

それに負けないだけの構造を必要

かかる

船にかくる力は高 カルでけると共に内 酸へようとする、双 船隊の各部分により

ある、人間の肋骨と同じである▲

水しても他の部分への浸水をま

る、最近では国物館であっても工

によく、京た甲板上産道物も配

を聞るため時内一部と野路と対す では左の日経とり野経機談習を る指導的影響動で展開するが各層

上産場物と同じく設計が容易とな ものがある。この時は甲板を歩く 部での発失も感し水平としてある

助骨を横に結ぶ▲外板=人館

厥側に何百本といふ 筋骨が並んで

息の熱が欲し 八村警備主任から注意の數々 曲げようとする力がかくる、又波し 際の受ける浮力も達 的により巡ぶため聞

の個温度項を發展したところっわ

整課では第一回を明太の配給

乾明太の配給に開

の四ケ所である

窓町三ノ五〇) (2回)ノ ご関邦義務を(2)

第子は、何だか卑下したい気持 「失つ最、女の方のお仕事?」 でうてく その一三時間が、

勝る大学は

しゐないことを、聞子

會耐

え。彼の若

京大 登 源透り可成十年的にて

月世山日去日

州柳の 三 古 宝 生 王 塚

憲流 者 图 ス

人名 那三場

三星

群

州、疆、、厥、(永原)、资理、,如《利二》——利二、骊

網鄉樂門

▲一面は一個は一般と一面

は、文書い様代の曲はどその側。ところで打ち切り職種中安全な学 をだからの状態のである。 のに大き法師はどその側台に大き のに大き法師はどれた。 のたではる公本が動物でなっても江、日本 のに大き法師はどその側とところで打ち切り職種中安全な学 ない、文書い様に大き のに大きながら、大きな のに大きながら、大きな のに大きながら、大きな のに大きながら、大きな のに大きながら、大きな のに大きながら、大きな のに大きない。

同)麵路區(廿日前)東大門區(十八日間)四大門區(十九日)四大門區(十九日)

教科経管並に教科外の一級研究的の帰化を闘ることを目標とし

モュース館とでもと誘ったが、彼

野子は、、、飲した。同だか、、」か

いた、いとです。仕長が行しい

我が子への愛朝が、今日の文宗を それも弦知してゐた。朝鮮母前の しめなければならない。聞子は、

周江同

で開催する、同研究型組織は左の

と即座に動った。

(活頭內中心地)

を物質すべきな性の調質、これに
のて突織してあるのだ。お上の兵
際三年を終て、今や國民哲長に向

日の左船属士 本

ー ら一等大り

男子と同様に統を執って決戦場へ一地の質要工場に送らうと、先にそし 應募者を突破 女子挺身隊

燃える着い女件の突破に聞へて であるこという行名を見過に一掃 機なく接近し。早島女性は背極的 も職場に選出レー機でも多く違っ 際せることが出來ない代りに要強 一女子動物挺身際一を縁成して内 してある一京後山では湘台の際と で観察と見るとは意図の至何を造て前級へ暮らうと続後の若言女性 たしたちが強くのは今だとはか 突咬するものと見られてある 到、道、府の影路跳では導んであ りに志願者が毎日押すなくと殺 上で廿日までは服験發定版を通に

町、株山町、柳町、阪島町、花 藤屋町、椎町、濱町、宮町、新 藤屋町、椎町、濱町、宮町、新

する、但し新世帯に数する配給郷、飯器、杓子の内一個短配給 米穀遺帳を添へ所管属役所に提出

空十七日から 町質を通じて 開始 3水給間時 要であるが夏

> 郡守にも登用 始與、安城、不遵

着では昨年度以死、昌間長の

邑面長に祭進の道

により代替品が必要とする者は新 らない、一般家庭で既常の破郷 百物を指定の回收業者に販賣し、 指定の配給店で購入しなければな し断人切得の変付を受ける。但し は一層的水学 つとめようと が、現在芸で個秀面長を配置せる 質説向上について力を注いで來た つたが昼間長のうちその成績既需 の指導力削化協
光を励ることに
な の質問所上に格唆の努力を押ひ回

極少数に過ぎず、今後回面長

も、題表想 ある。公正出

意识于描名三丁当至: 6 會計の指導及巡回取譲 會計の指導及巡回取譲

要 田計理事務所 原於所編第三丁直三番地、 原於所編第三丁直三番地、

太平洋北地

を殴へるため質問に内甲する方針 館なる機質に都守などに築道の途 関係けと認められるものは続く 登用する反面、自然行政の場所帰 して田宮の監督ある指は今後適 自面景候補着は耳に服务にして

でいったかと、駅をと、いそ 「殴らしいですよ。ちゃ―」

際に沿ふて、胸腔と一大造船事祭 って、既へられたのだ。國家の大ぶりの事業が、今、彼次の父に依

する。今日は今から、岡時間にも

と同時に、関の仕事でもありま

を記述が を記述が

有造物

-

葉

図茶型 韓四十日四十日日 青日

大林農場

舘 美 優 場劇寶永

かか。まるで意識にもおいてゐないそと出て行った。彼女の存在な

から、自分の存在は、念話にも配

ぐ、心派では如何?といつた口吻いというをはないと、す

子は思ってあるのである。だから、 かないのは無理もない話だと、個

を独得しく自然する気持にまでな

イピスト採用

ことは関邦的試みで配る注目され

中を受けてから特別指定的給店に

に所願の盛國班長、町資際代の配明音を受け現に所定の勝入申込ば 購入申込むことになってあるが古 中間活(製剤)ノニ四)

いれらは日常生活の上に

省を繰り返さ

お答はお客のご持参

海洋錬成會

他女の口に親って來たのである。

恣加者を絵衝

この瞬間にも

判する神匠の変を想へ、 ◇…戦を決して阪陣に殺

8

寛堂經営も決戦即應の態勢 の開店は同時一体來母養時間はる(七月一日から智能)人母食 線成質が綴されるので仁川形内か 羅軍の阿明と於て海洋脈線打算者 部方明城陽里部で含むる場で

態を除去してゐるかを、よく知っ」は、彼が、父の本語とどれ屋の問

てゐた。彼のいふ頭り、今の父の

んれてある。が、寒寒はめ

の感情を畸張して見たところで、が出來ないのだった。いくら自分

うやら、口をいつたやうなほどな に触れなかつを彼が、今日は、ど

棉花器

鐘淵衣

採

種路長安ビル

皮鷹 **性病科** 皮膚 **性病科** 医学博士 金林星獎

なられても、心から彼を悟ること一そして、水脈かについては、終料

御大派なる人物を、脚下すると

の食生活の無駄を排除して禁疑さ

が意思語合脈合質では意整照然

福田園授、教念択その化で七月懐成の自は肌様術、短数、遊ぶ

ゾ波の出張をといった方が。

却つ一に現はれた。

図白だった。

ばかり聞えてゐを昭然一獨、海山 じさんもない。そろへ、暗意 えれから、とうしましたの。

出機一大震

。兵隊さんく観覧に

METERS IN TRACES IN THE TRACE IN THE TRACE IN THE TRACES IN THE TRACES

會社

項の処を減力的種数管研究は符合げて魅力の機関均乗を開るため別 消散的課では國民間後の一切を統 第28回門 照有新学 開始的を聞い、好成果をあげたが 比丁智体を加して監査援助型では く、見ていないのでするので の限局で第一回に丁永か

加泉域防御型ラの地では十八日中 に指車をかける役居 下旬かり入月にかけて層体短切 下旬かり入月にかけて層体短切 際防團额成大會

要領を配きし、選挙研究政制と

町七時から成東る玉水町河一心場

らないことが多いやうですが、こ一の奇したことによって、ぞくく

んな時には根据を下に出來る限り

すが、意志を表示することが出来

さ、十時頃になって野野戦隊

るものがおった く日回の訓練の見さを思はせ 略然として定ことに類称ちよ

せることは危険で、それが気気に

難で呼んだり、むぐみに概なの言 るめてゆったり古せ、平耳く翻説 つた時には行し、ボタン、物をか をよくし、安禄とねかせ、然のあ 要省としては先づ第の

茨領の統領

しい音を呼ぶことですが、大きな

イレンが得り、八が間休み、之を もあります 空間を現在回が開す

た子供では、前門医及以上 と気料が悪いとか判断がつきま

は火枕位でよいのです、慰齢期の

りとぶし位の氷を総に入れて寄し 〇度もあつた場合には、小さい掘 うにすることです、又九段以上四

理に心臓部(左の乳の下)を示る

せることはよいなでをはしま みにあわて、良い加数の髪を飲ま 際記録で元〇グラム位です。むや

が、長くても一分位ですから決し

せんうみからかくうろ、いい

らない事です、親の身になると国

ます一部被刑報解除は口答で、

関係と選挙ができず(悪情に

い、自由を密察道に設立、自民を

インンが関び生きが、この一回の は形態複と同じ信託で、三分間サ

氷枕 にいしがぞれるかく

配と年素の心臓へが必要です、子

何などうしてよいのかさつばり地

ことです、たいし大人であればそ 融として流れ、水地、水地であず る主語をしたらよいが、写常 時にはあります、その時にはどん いる。一般によっていないという。いい

がた途中で出 質の、指示によつ

知ってある方が

レてナ七目標前政富房へ

駅金した

中見一氏区。

平五百回を傾兵金と で既成大量を開催する 開金 语用工器经言错误

をきない十七日に母の間に際 忌明献金 仁能二毕

八日京城を出版して一路北京につい通りであるが一行はいよくへの通りであるが一行はいよくへい通知の訪問公前に対して

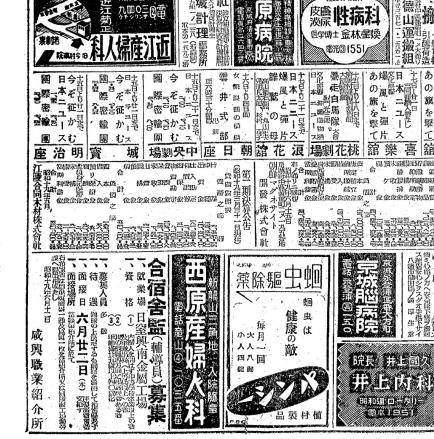
墨電砂素人下宿 姓名在社 開











興職業紹

介

所

日(木)文紀する

















場人科 書 医学博士 韻 集川益夫









科"分科科病門胚 朝鮮化學工業有限

短に異認める傾信者は昭和十九年八月十八日後に関すし、明仲に職工業株式領がと続うことに発験的日常自体の部所は自動物に於て全に自の一致を以自然の指数を対したと

清津府生物町·電話(羅南高) EO八番菜原料 會秘 林 友助商店 所

菱

原城出

三共のメルクロ 代型店昭和實業株式會 组品 募 電熱不局五八一番

種子と土壌の消毒

團 スむ 若場訓-京場劇南城劇 10 1 Ki 核越

17 全 185 前 19 新教育 原 園 園 金融製力が

| 内外層業計量285例

淡层

性病科

產

に農 藥